



報道機関 各位

**議題 1**

記者発表資料  
 平成30年11月26日（月）  
 問い合わせ先：指導1課  
 課長：吉田 賀一  
 担当：辻、加藤英  
 電話：829-1662

**さいたま市の英語教育 PLAN THE NEXT②****英語4技能効果測定の結果より**

本市で取り組んでいる新たな英語教育「グローバル・スタディ」については、本年度、「PLAN THE NEXT」を推進しているところです。ランドデザインに基づき、現段階での進捗状況と年度後半の取組について示すものです。

## 1 「グローバル・スタディ」ランドデザインの策定

現在、実施している「グローバル・スタディ」を「12年間の連続性をもった教育活動の実践」へと充実を図るため、ランドデザインを策定しました。今後、この計画に基づいて、さいたま市の英語教育を推進します。（別添 参照）

## 2 全国初の1万人規模での英語4技能効果測定（GTEC）の実施

エビデンスに基づく授業改善に向けて、効果測定を実施しました。市立中学校全校において第2学年の全生徒約1万人での英語4技能効果測定の実施は、全国でも初となる取組です。現時点での成果と課題についてデータを得ることに留まらず、これを活用し、PDCAサイクルを意識した授業改善へつなげます。

## ＜効果測定の実施＞

対象学校数・生徒数	市立全57中学校・第2学年生徒 約1万人
実施時期	平成30年8月29日（水）～9月4日（火）
実施内容	Listening、Reading、Writing、Speaking の4技能の効果測定

## ＜事後研修会の実施＞

対象学校数	市立全57中学校 ※グローバル・スタディ科教員等参加
実施時期	平成30年10月16日（火）～10月26日（金）
実施内容	○さいたま市全体の結果分析 ○各校個別面談による効果測定の結果分析、質疑応答 ○自校の「フィードバック」作成

### <今後の取組>

各校では、これまでの「グローバル・スタディ」実施の成果と課題について、自校の「フィードバック」を作成しています。本年度後半は、これに基づく授業改善に着手していきます。年度末には、各校での取組の成果を検証します。

また、事後研修会では、生徒個人の結果分析についても個別のアドバイスにつなげるように、活用の仕方を共有しました。

## 3 学習で身に付けた成果を発揮する場の活用

### ○イングリッシュ・キャンプ

(1)日時 平成30年8月22日(水)～24日(金)の2泊3日

(2)会場 県立名栗げんきプラザ

(3)内容 市立小・中学校に通う児童生徒80名と市立高等学校の生徒8名が、ネイティブのALTと英語による生活を体験しました。

### ○中学校英語ディベート大会

(1)日時 平成30年12月26日(水) 10時00分～16時00分

(2)会場 プラザイースト

(3)内容 市立中学生を対象に、さいたま市中学校英語ディベート大会を開催します。「グローバル・スタディ」の学習成果を生かし、市立中学校の生徒が論戦を繰り広げます。

### ○小学校英語劇発表会

(1)日時 平成30年12月26日(水) 10時00分～12時00分

(2)会場 プラザイースト

(3)内容 市立小学生が、「グローバル・スタディ」の成果を生かし、「ももたろう」などの英語劇を発表します。

## 4 「グローバル・スタディ」研究フォーラムの開催

(1)日時 平成31年1月29日(火) 15時00分～16時30分

(2)会場 プラザイースト

(3)内容 ○学識経験者による講演会

○小・中・高・特別支援学校12年間の学びの連続性を目指した「グローバル・スタディ」の今後の展望



議題 1



# さいたま市の英語教育

## “PLAN THE NEXT” ②

～英語 4 技能  
効果測定の結果より～



さいたま市教育委員会

# グランドデザイン策定

日本一の教育都市  
さいたま市の英語教育=“Global Studies”  
～12年間の学びの連続性～

## グローバル社会

多様な価値観や文化との出会い  
人々との協働による問題解決

多様な文化をもつ人々とコミュニケーションを図り、協働することができる英語力

海外交流事業

体験的な学びの機会

イングリッシュ・キャンプ等

中学校英語ディベート大会

エンパワーメントプログラム等

**<小学校>**  
英語による  
コミュニケーションの体験  
⇒自分やさいたま市のことを発信  
・対話 ・プレゼンテーション

**<中学校>**  
英語による  
コミュニケーションの充実  
⇒社会的な事象のこと等について自分  
の考えを伝え合う  
・ディスカッション ・ディベート

**<高等学校>**  
英語による  
コミュニケーションの実践  
⇒専門的な特定の話題について議論する  
・ディスカッション ・ディベート

主体的な行動  
社会貢献  
日本人・さいたま市民としての誇り

“Global Studies”



小学校

**<小学校>**  
自分のこと(思い)を伝える  
相手のこと(思い)を尋ねる  
・身近なこと ・好きなもの(こと)



中学校

**<中学校>**  
自分の考えを論理的に伝える  
相手の考えを踏まえて話し合う  
社会的な話題について意見を発信  
・日本や地域の伝統・文化  
・社会的な話題  
・解決すべき課題



高等学校

**<高等学校>**  
専門的な特定の話題について議論する  
広範囲な話題について流暢かつ自然に  
話し合う  
学術的問題や社会的問題などについて  
論理的に意見を発信  
・日本や地域の伝統・文化  
・地球規模の諸課題  
・学術的で専門的な課題

地球的な視野  
多様性の理解  
将来にわたる社会貢献



グローバル社会での  
活躍へ!

◎GTEC・英検IBA実施による効果測定  
エビデンスに基づくカリキュラムの見直し、改訂

“Global Studies”カリキュラムの充実

○さいたま市 CAN-DO リストの作成・活用

グローバル化に対応した  
教員の育成

さいたま市英語教育ワーキング・グループ  
○「グローバル・スタディ」カリキュラムの見直し、改訂  
○効果測定の結果分析、授業改善の視点提示

教員研修の充実

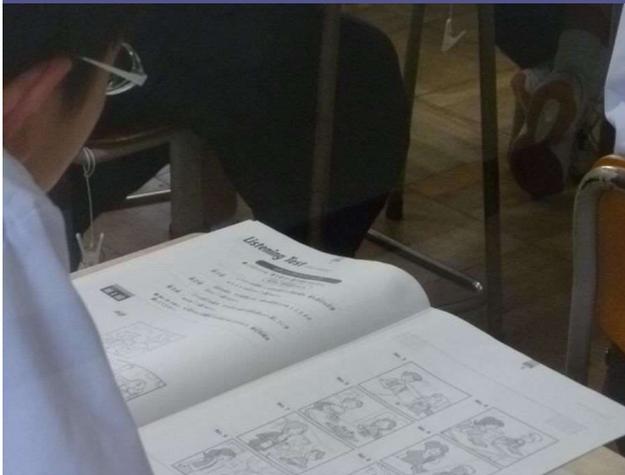
- 小学校全教員対象の英語力向上研修 (H30) ⇒ H31～の新規事業へ
- 小学校全教員対象の英語指導力向上研修 (H31～)《新規》 3日間の悉皆研修 (5年間)
- 中学校、高等学校教員英語教育研修会 (H31～)《新規》 \*中・高等学校教員の連携
- 教員の英語力向上 (文部科学省英語教育実施状況調査 目標: 中学校 英検準1級相当取得率 70% 高等学校 英検準1級相当取得率 80%)
- 英語教育推進リーダーの育成 (文部科学省中央研修の活用)

# 英語 4 技能効果測定（GTEC）実施

● 8月29日（水）～9月4日（火）

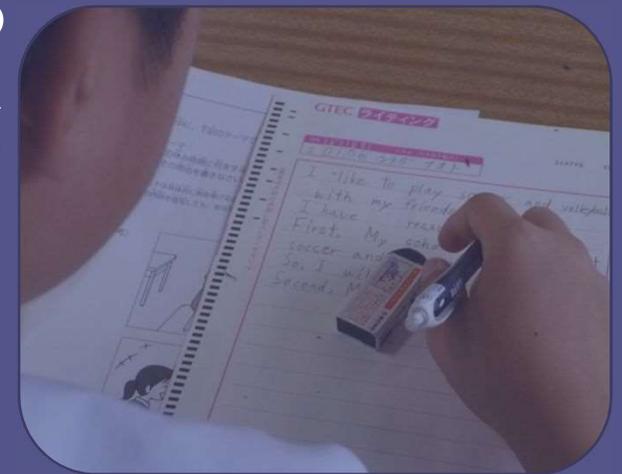
## GTEC実施

市立全 57 中学校  
中学 2 年生全数  
（約 1 万人対象）



# さいたま市の特徴

- **中学2年生全員**（約10,000人）の**4技能**を一斉に測定したのは、**全国初**。
- 中学校3年間の折り返しに当たる、中学2年生の2学期当初に効果測定を実施することにより、早めに生徒の実態を把握し、残り約1年半で**じっくりと時間をかけて生徒の英語力を伸ばす対策**を行うことができる。



# さいたま市の結果より

○中2の2学期当初で……

- **CFERのA1レベル**

(中3卒業段階での推奨値) を、**3割がすでに達成済。**

- アウトプット（発信技能）である**Speaking**と**Writing**については、**大変良い**結果であり、また**無回答率が低い**ことが特徴。

「グローバル・スタディ」の成果

# さいたま市の結果より

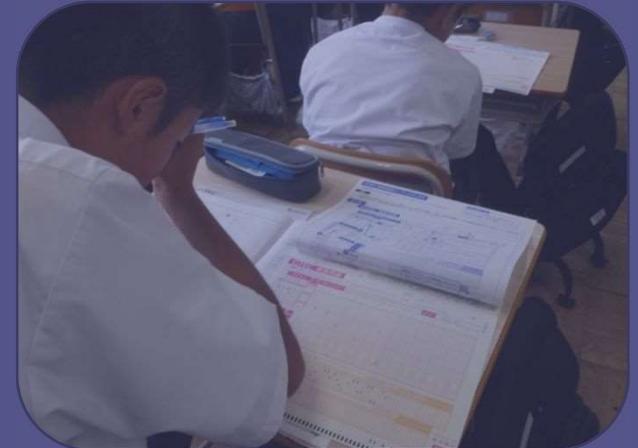
○中2の2学期当初で……

- ・ ReadingとListening（受信技能）についても**良好**。



今後の語彙や文法の学習により、身に付く「伸びしろ」ととらえることができる。

「グローバル・スタディ」の課題



# 英語 4 技能効果測定 (GTEC) 実施後の取組

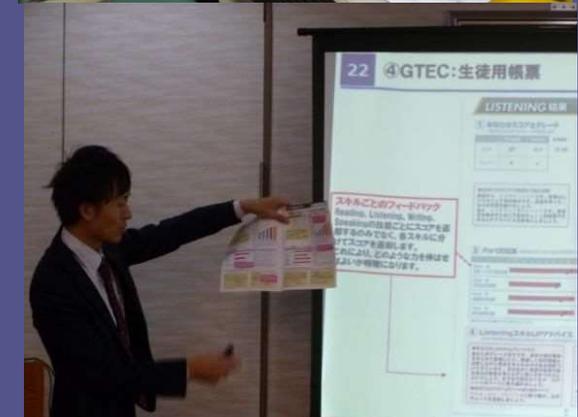
## 1. 事後研修会実施 (市内4ブロック)

○10月16日(火)、18日(木)、  
24日(水)、26日(金)

○内容

・さいたま市全体の結果分析

・各校個別面談による  
効果測定の結果分析、  
質疑応答



教師用アイテム 教師用帳票

明日からのご指導につながる、充実したフィードバックをお届けします。

**GTEC for STUDENTS 教師用帳票**

ご受験の結果は下記の3つでご覧いただけます

- 学校別
- インターネットフォルダ
- FINE SYSTEM

**FINE SYSTEM**  
受験結果を加工し、わかりやすい形式でダウンロードできます。  
※FINE SYSTEM 詳細は別添付資料をご覧ください。

**学校別結果資料一覧**

項目	内容	備考
1	学校別結果	学校ごとの受験結果をまとめた資料です。
2	学校別インジック	学校ごとのインジック結果をまとめた資料です。
3	学校別スコアシート	学校ごとのスコアシート結果をまとめた資料です。
4	学校別結果一覧	学校ごとの結果を一覧で確認できる資料です。
5	学校別結果詳細	学校ごとの結果の詳細を確認できる資料です。
6	学校別結果一覧(印刷)	学校ごとの結果を一覧で印刷できる資料です。
7	学校別結果詳細(印刷)	学校ごとの結果の詳細を印刷できる資料です。
8	個人別結果	個人ごとの受験結果をまとめた資料です。
9	個人別インジック	個人ごとのインジック結果をまとめた資料です。
10	個人別スコアシート	個人ごとのスコアシート結果をまとめた資料です。
11	個人別結果一覧	個人ごとの結果を一覧で確認できる資料です。
12	個人別結果詳細	個人ごとの結果の詳細を確認できる資料です。
13	個人別結果一覧(印刷)	個人ごとの結果を一覧で印刷できる資料です。
14	個人別結果詳細(印刷)	個人ごとの結果の詳細を印刷できる資料です。

**受検結果資料**  
学校別結果、クラス別結果、個人別結果など、用途に応じたご指導につながる資料が豊富です。

**学校別教師用帳票**

**New インターネットフォルダ**  
クラス別結果(印刷)・個人別結果(印刷)・個人別インジック(印刷)・個人別スコアシート(印刷)をインターネットフォルダにてご提供します。クラスごとの結果を確認し、個人ごとの結果を印刷してご利用ください。  
※印刷結果はGTECの著作権が保護されており、インターネットフォルダのダウンロードはできません。  
※個人別インジック結果は、結果資料のインターネットフォルダとは別添付資料となります。

## 2. 個人成績表返却

- 個人成績表によるフィードバック  
生徒一人ひとりの「頑張った！」  
「さらに！」を具体的に示す。



## 3. 全校の具体的な授業改善への活用

- 各校の教科会で、全グローバル・スタディ科担当教員が「学校用フィードバック」を活用しながら授業改善案立案
- 管理職とも改善案を共有し授業改善につなげる
- 年度末に「学校用フィードバック」を検証予定

# 英語4技能効果測定学校用フィードバック

## 子どもたちの英語力向上のために～GTECを活用した指導の道しるべ～

自校の強み、弱みを的確に把握し、授業改善に！



技能別	強み◎ 弱み▲	技能パート別	結果を踏まえたネクストアクション(例)	2019年2月期 高実進したか ◎
Reading		A 語彙・文法問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙を意味ある文脈の中で捉えさせ、繰り返し使って、発信する活動を促す</li> <li>意味がわからない語彙を前後の単語や全体の内容から推測させる活動を行う</li> </ul>	
		B 概要把握問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を黙読したのち、結論を導く発問・活動を行う (例: 「What is this story about?」と問い、生徒からのキーワードを黒板に記載)</li> <li>生徒のレベルにあった読む必然性のある初見の英文をたくさん読ませる (初見文章: 多読教材、Let's Listenのスク립トなどを活用)</li> </ul>	
		情報検索問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科との連携など読む必然性のあるイラストや写真を用意し、質問をさせる (例: 修学旅行等の旅のしおり、観光用に用意されている英語パンフレット)</li> </ul>	
		C 要点理解問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて英文を読み、読んだ内容をもとに発信する活動を行う</li> <li>「What do you think about this?」と、教科書を根拠に自分の考えを構築する活動をする (教科書本文を「意見」「考え」「気持ち」を発信する材料とすると、読むことに必然性が出てくる)</li> </ul>	
		指導改善しようと思うこと (自由記述)		
Listening		A 写真 イラスト 説明問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面や状況などを明確にした簡単なやり取りをおこなう(スモールトークなど)</li> <li>生徒が聴いたことをリピートし、わかったことを伝えることを促す</li> </ul>	
		B 会話応答問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容に関わる質問をしあう活動を促す</li> </ul>	
		C 課題解決問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が聴いたことをリピートし、わかったことを伝える</li> <li>内容に関する質問をした後に、生徒に自分の考えを答えさせる</li> </ul>	
		D 要点理解問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に見ずに音声聞かせる</li> <li>概要を捉える質問をしてから、英文を聞かせる</li> <li>英文を聞かせたあとに、内容の詳細に関わる質問を行う</li> </ul>	
		指導改善しようと思うこと (自由記述)		
Writing		意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文を書くことに慣れさせる</li> <li>話す活動後に、書くことを位置づける</li> </ul>	
		理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テストにおいても、考えを問う問題の出題と内容を評価する採点を行う</li> <li>新出語彙を使って、自己表現の機会を設定する(語彙習得)</li> </ul>	
		語彙・文法	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に「表現したくてもできなかった表現」を問い、ノートなどにまとめさせる</li> </ul>	
		指導改善しようと思うこと (自由記述)		
Speaking		D 自分の 意見を述べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見を理由と関連付けて述べる活動を増やす (アイデアを出す力、理由を論理的に関連付ける力、それを英語で表現できる力の育成)</li> <li>話したいことをメモにおこし、話す機会を増やす</li> <li>話す構成を考える場をもつ</li> <li>やり取りの中で「+1文」で話すことを促す (例: 考えを伝えたあとに、理由や経験、具体例等を伝えるなど)</li> </ul>	
		指導改善しようと思うこと (自由記述)		

PDCAサイクルにより、英語4技能効果測定を確実に生徒たちの英語力向上へつなげます！

●GTECの結果を受けての感想、分析、今後に向けた自校の課題等

## 先生方の声

- 「今までにない視点からの自校の結果分析を聴いて、大変良い刺激になった。」
- 「自校の取組がエビデンスに裏付けられ、とても自信になった。」
- 「生徒一人ひとりの4技能の定着状況踏まえた、丁寧なフィードバックが可能になった。」
- 「学校全体の状況がしっかり捉えられ、これからの改善点が今まで以上にはっきりした。授業を変えていこうと思う。」





# 「グローバル・スタディ」 成果発揮の場

- 1 イングリッシュ・キャンプ
- 2 中学校英語ディベート大会
- 3 小学校英語劇発表会



# 1 イングリッシュ・キャンプ

- ・日時  
平成30年8月22日（水）  
～24日（金）  
（2泊3日）

- ・場所  
県立名栗げんきプラザ
- ・概要 など

昨年度より開催。今回2回目。  
市立小・中・高等学校の希望児童  
生徒が参加。

小・中参加者80名、高校参加  
者8名

ネイティブと英語だけで生活



## 2 中学校英語ディベート大会

・日時 平成30年12月26日(水)

10:00~16:00

・場所 プラザイースト

・大会概要など

昨年度より開催。今回2回目。市立中学校の希望生徒が参加。上位3校にはトロフィーを授与。

・昨年度成績

1位…浦和中

2位…大砂土中

3位…大谷場中

“Junior high school students should clean their school by themselves.”

「中学生は、学校を自ら清掃すべきである。是か非か。」



# 3 小学校英語劇発表会

- ・日時 平成30年12月26日(水)  
10:00~16:00
- ・場所 プラザイースト
- ・大会概要など

昨年度より開催。今回2回目。  
市立小学校の希望児童が参加。昨年度は、中学生と高校生もエキシビションで参加。

- ・昨年度の演目

『桃太郎』 『かぐや姫』



# 「グローバル・スタディ」研究フォーラム開催

～成果共有とこれからのに向けて～

- ・日時 平成31年1月29日（火）  
15:00～16:30
- ・場所 プラザイースト
- ・内容
  - 学識経験者による講演会
  - 小・中・高・特別支援学校12年間の学びの連続性を  
目指した「グローバル・スタディ」今後の展望



議題1終了